

# その責任は政府、厚労省にある

病院は、いつまで寝たきり老人にベッドを占拠させておくんだ。若者の間に「嫌老人」感情が高まっている。つい70歳以上の人は少し間引きすべきた。…なんてバカな意見まで飛び出してきた。今月11日は介護の日だ。

## 年金

# 元本割れ世代は

# 怒りの矛先を 間違えている

### 老人を「ゴキブリ」呼ばわりする若者まで



「ゴキブリ」老人が若者の未来を食いつふす。日本復興には老人の大量死しかない。

ネット上には、そんな愚にもつかない書き込みがふれまわっている。恐ろしい。構想の世界になってきた。年金支給開始年齢の「68」70歳引き上げ議論を機に、若者世代の不満の矛先が、老人へ向かい始めているのだ。悪いのは、年金を大盤振る腹が立つ。

舞い上がっている老人たちで、自分たち現役世代は、被害者、という位置付け。何だか高齢者の多きように若者の力不足で毎日しているような言い方だ。もちろん、30代、40代は、年金保険料の上振し上げや受給額減などを突きつけられ、「なぜわれわればかりが……」と頭を抱えるのも当然だろう。国民年金の未納率は40%を超え、それをしている人が平気な顔をしているのも腹が立つ。

厚労省の局間十代も縦割りがあり、介護と医療費の予算がバラバラ、これを統合するだけでも、相当の予算が必要だ。70歳以上の医療費負担も増える。現在、特例で1割に据え置かれている70・74歳の親類の窓口負担が2割に上りそうだが、診療費とは別に1000円の受診時定額負担も始まる可能性が高い。……といつもわか10年前だが、老人医療費は月1限30000円の定額通院制だった。さらにその前は無料だった。たごを考れば、この世代も負担を分担しているのだ。

また、老人福祉世帯の代表格とされる軍人恩給も、受給者は平均90歳近くまで高齢化し、77万人に減ってきている。毎月受給額も6万円ちょっとだ。戦争すれば、専ら連戦で、77万人に減ってきている。毎月受給額も6万円ちょっとだ。戦争すれば、専ら連戦で、77万人に減ってきている。毎月受給額も6万円ちょっとだ。戦争すれば、専ら連戦で、77万人に減ってきている。

「ゴキブリ」呼ばわりする若者まで、怒りの矛先を間違えている。若者が弱者をたたいたら、失敗を重ねる政府の思考つぼだ。

「**年金世帯も月5万8000円の赤字**」  
そもそも、日本が老人天国なら、若い世代は世界に誇っている。自分のおじいさん、おばあさんや「ゴキブリ」と言いたくない人はいないはずだ。  
さらに、高齢者の生活はそれれほど裕福なのか。全国消費実態調査による60歳以上の「高齢無職世帯」12万人(18.3888万人)の実収入は、月21万8388円(うち年金は約18万8000円)。税金などを引いた可処分所得は18万3855円。  
一方、消費支出は月24万5870円だから、毎月5万8000円の赤字になっている。  
よく言われるのが、個人金融資産1400兆円のうち4分の3は60歳以上が保有していること。だが、ちょうど中央債の世帯貯蓄額は990万円しかない(09年)。毎月、5万80000円の赤字が繰り下り、14年で貯金が底をつか計算だ。

「**そ**」もそも、日本が老人天国なら、若い世代は世界に誇っている。自分のおじいさん、おばあさんや「ゴキブリ」と言いたくない人はいないはずだ。  
さらに、高齢者の生活はそれれほど裕福なのか。全国消費実態調査による60歳以上の「高齢無職世帯」12万人(18.3888万人)の実収入は、月21万8388円(うち年金は約18万8000円)。税金などを引いた可処分所得は18万3855円。  
一方、消費支出は月24万5870円だから、毎月5万8000円の赤字になっている。  
よく言われるのが、個人金融資産1400兆円のうち4分の3は60歳以上が保有していること。だが、ちょうど中央債の世帯貯蓄額は990万円しかない(09年)。毎月、5万80000円の赤字が繰り下り、14年で貯金が底をつか計算だ。